

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和7年2月 1日

事業所名 パステル

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3		多機能型事業所の特性を有効活用し、活動内容によって個別や小集団活動等に活用。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	2		人員配置基準以上の人員を配置しております。緊急時など多機能型の長所を活かして対応。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		入口、手すり、個室トイレあり。配慮が必要な部分は工夫して対応。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		毎日打合せを行い、支援を検討。PDCAサイクルを意識した活動前後の振り返りと打ち合わせも実施。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者の意向等があればスタッフ打合せ時に検討をして業務改善に繋げている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		平成29年度より継続してホームページにて公開。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	第三者評価は未実施。適宜対応を検討。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4		他県外部研修、県内外研修、法人内研修を実施。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		定期的にあセスメントを行い計画につなげて取り組んでおります。アセスメントシートなど見直しも実施。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		アセスメントツールは活用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			課題内容や活動内容は打ち合わせ時に情報共有。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		個々の発達や障害特性に合わせた支援が出来るようにしていきます。色々な活動を取り入れて実施。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		支援開始前に毎日打ち合せを行い、お子さん一人ひとりの支援内容と活動内容、役割をスタッフに提示して確認。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		ケアコラボ(情報共有システム)を活用しています。翌日のスタッフ打ち合わせ時に振り返り等の確認しております。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		ケアコラボ(情報共有システム)を活用。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		モニタリング時に保護者との話し合いの場を設けて見直し。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	3		ガイドラインの基本活動を組み合わせながら状況に応じた支援を実施。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者と支援スタッフが参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		学校へのお迎え時、電話などで担任の先生に確認。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2		対象者なし。適宜対応を検討。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	1	必要に応じて情報共有を実施。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		保護者の要望に応じて情報共有の場(担当者会議等)や、情報提供シートを作成。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	3	必要があれば外部の専門機関と連携を検討。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	3	子ども第三の居場所おむすび堂のイベント参加(出欠確認あり)。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	子ども支援WGへ参加中。(管理者)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		ケアコラボ(情報共有システム)や、お迎え時に保護者との状況共有。必要な時は個別に時間を設け意見交換を実施。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6		相談があった場合は助言。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に説明。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3		モニタリング時やその他必要な場合に応じて助言や支援を実施。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	父母の会は未実施。今後のご要望などに応じて検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		体制あり。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		ケアコラボ(情報共有システム)などを活用。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			契約時に同意書あり。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			個々に応じた配慮と支援。視覚的な支援(絵カード等)やわかりやすい言葉、伝達方法を工夫。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4		法人内の他事業所と連携し、交流の機会を企画。(感染症の流行に留意)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	各種マニュアルは随時作成、更新。また、ケアラボ(情報共有システム)を活用しながら周知。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		避難訓練を実施。BCPに基づいた研修と周知を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	法人内研修で虐待防止研修を実施。入職時には虐待防止研修を必ず実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	対象者なし。適宜対応を検討。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	保護者と確認をしながら、マニュアルを作成。おやつやお弁当など個別対応。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		インシデントレポートを集計し毎月共有。